自宅へ帰ろう！

本人の気持ちと家族の思いを叶えるために

小規模多機能ホームぬくもりの家えん

山内　美里

能登　純子

事例紹介

８９歳　　女性
要介護４

既往歴
高血圧　多発性脳梗塞
慢性心不全　心房細動

夫　長男夫婦と同居

平成29年3月より
小規模多機能ホームぬくもりの家えん利用

利用当初の状況

食　事

自力摂取出来る
開
平均

排　泄

ベッド上でパット交
色
臭も強

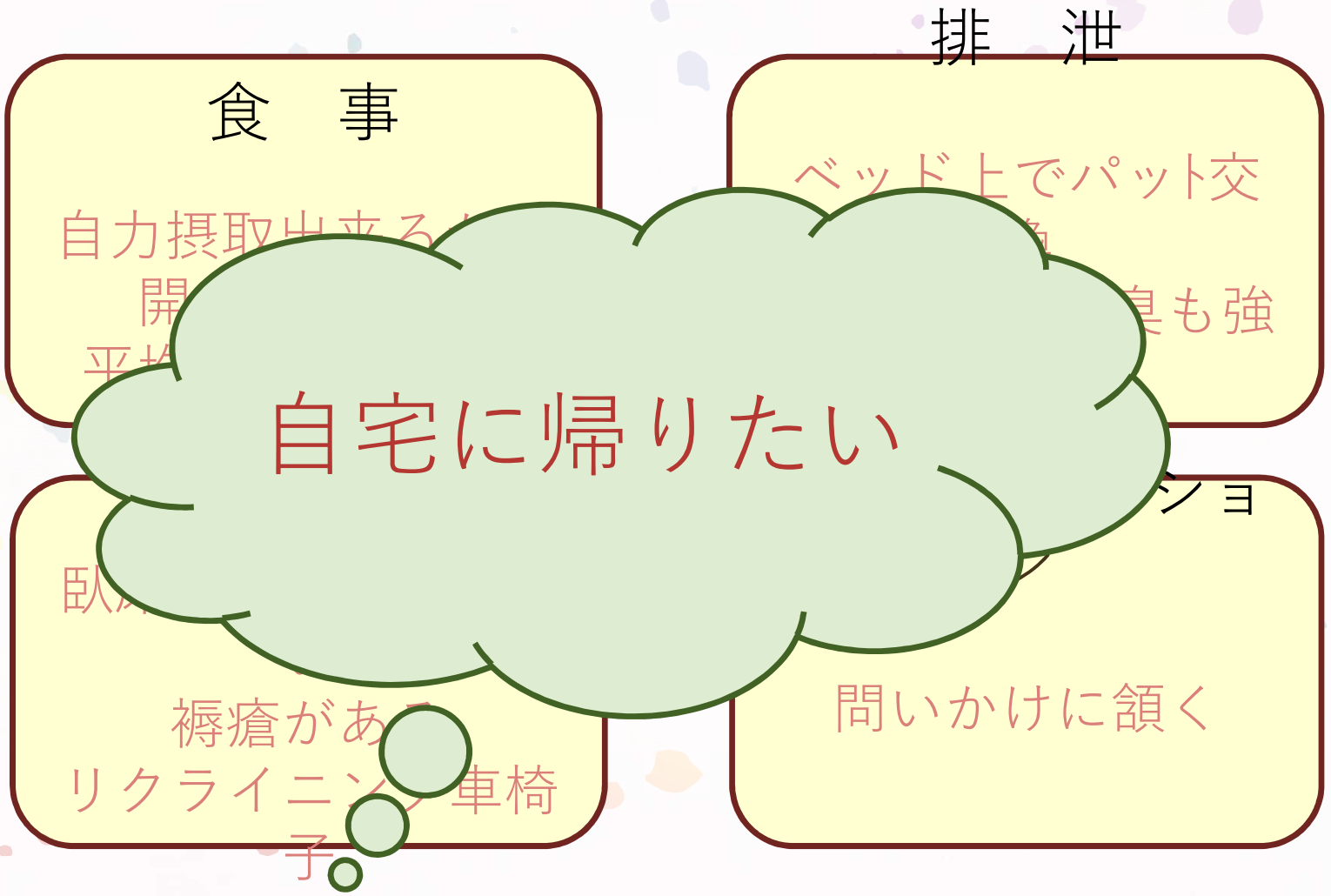
自宅に帰りたい

ショ

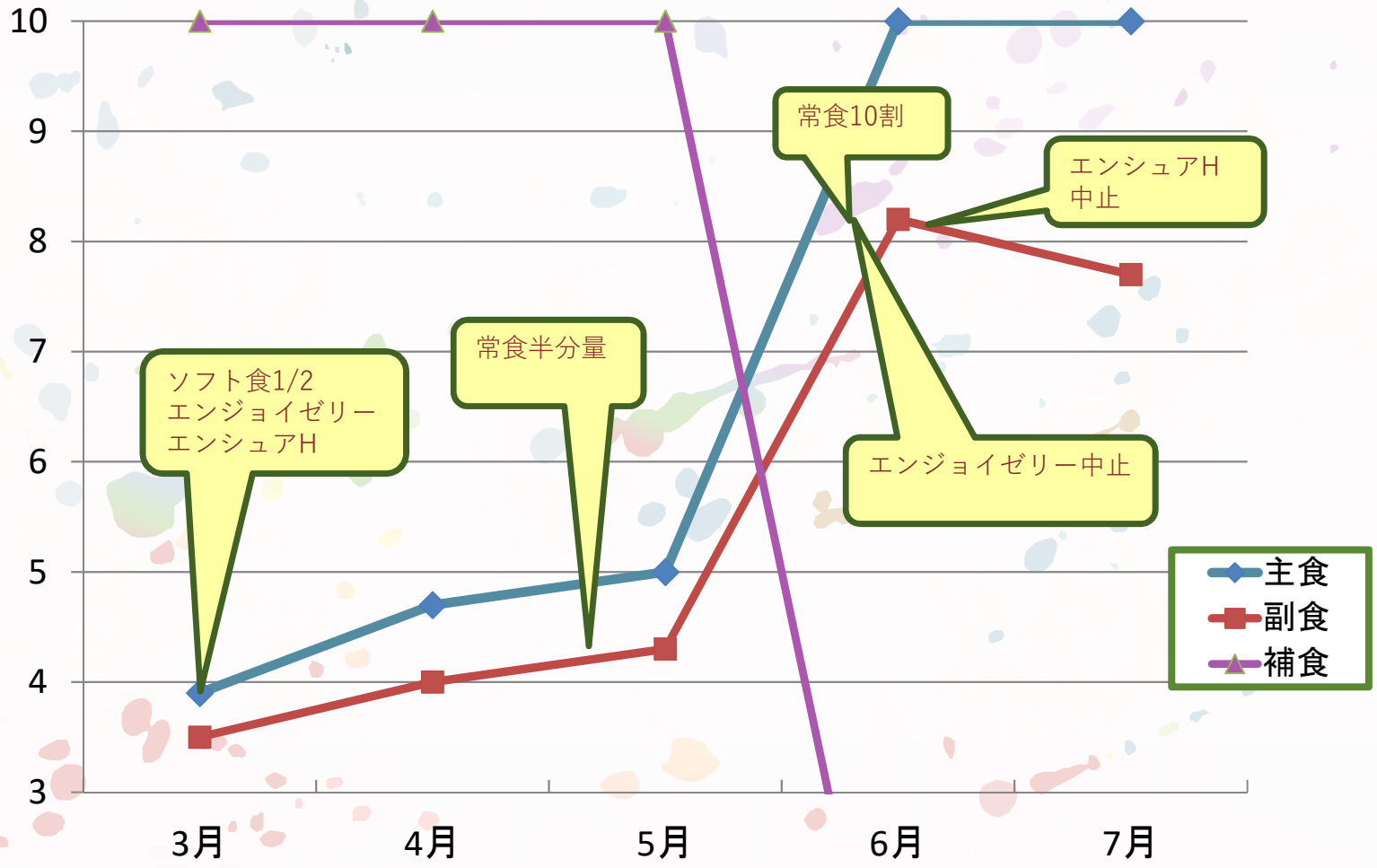
臥

褥瘡があ
リクライニング車椅
子

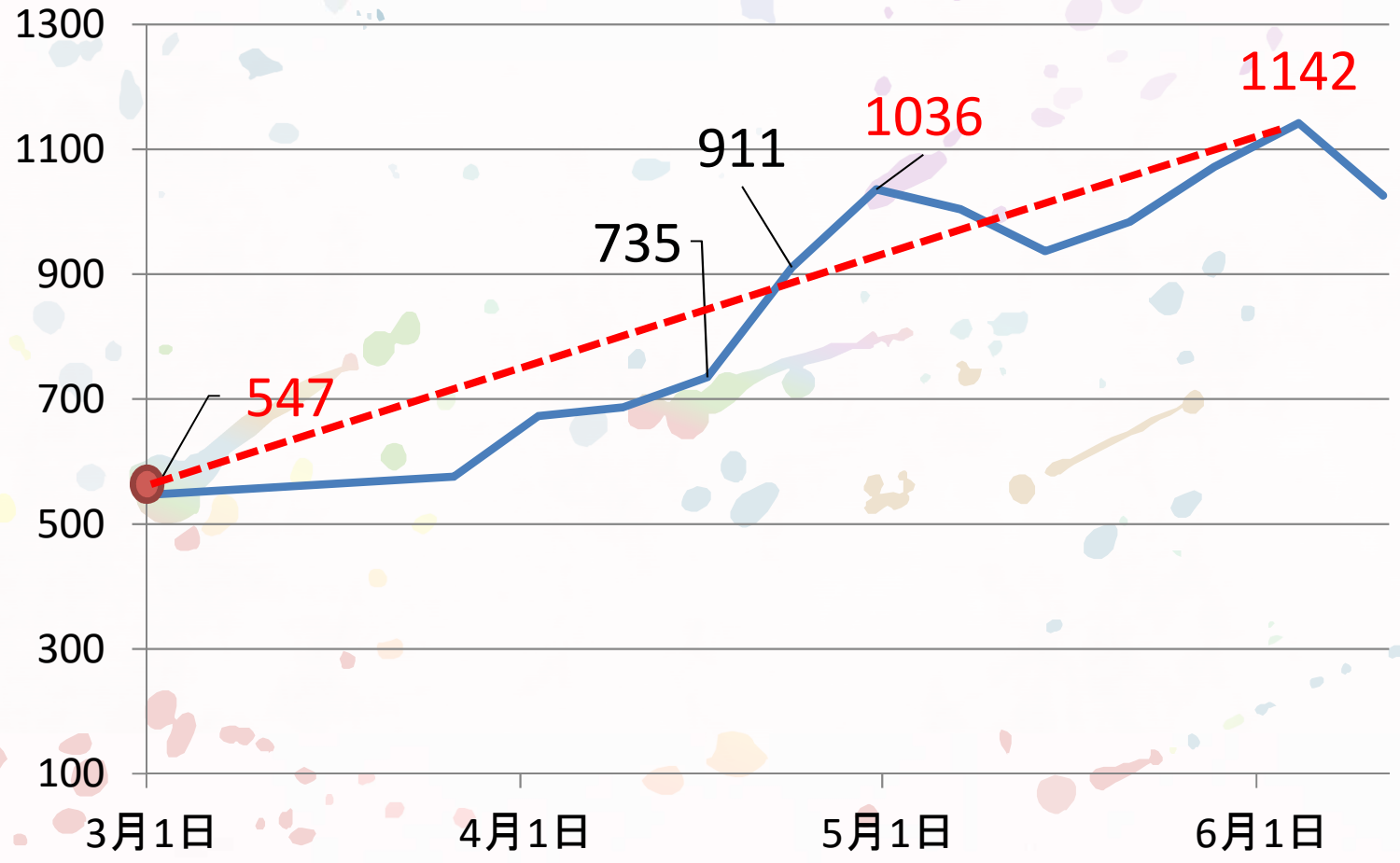
問いかけに頷く



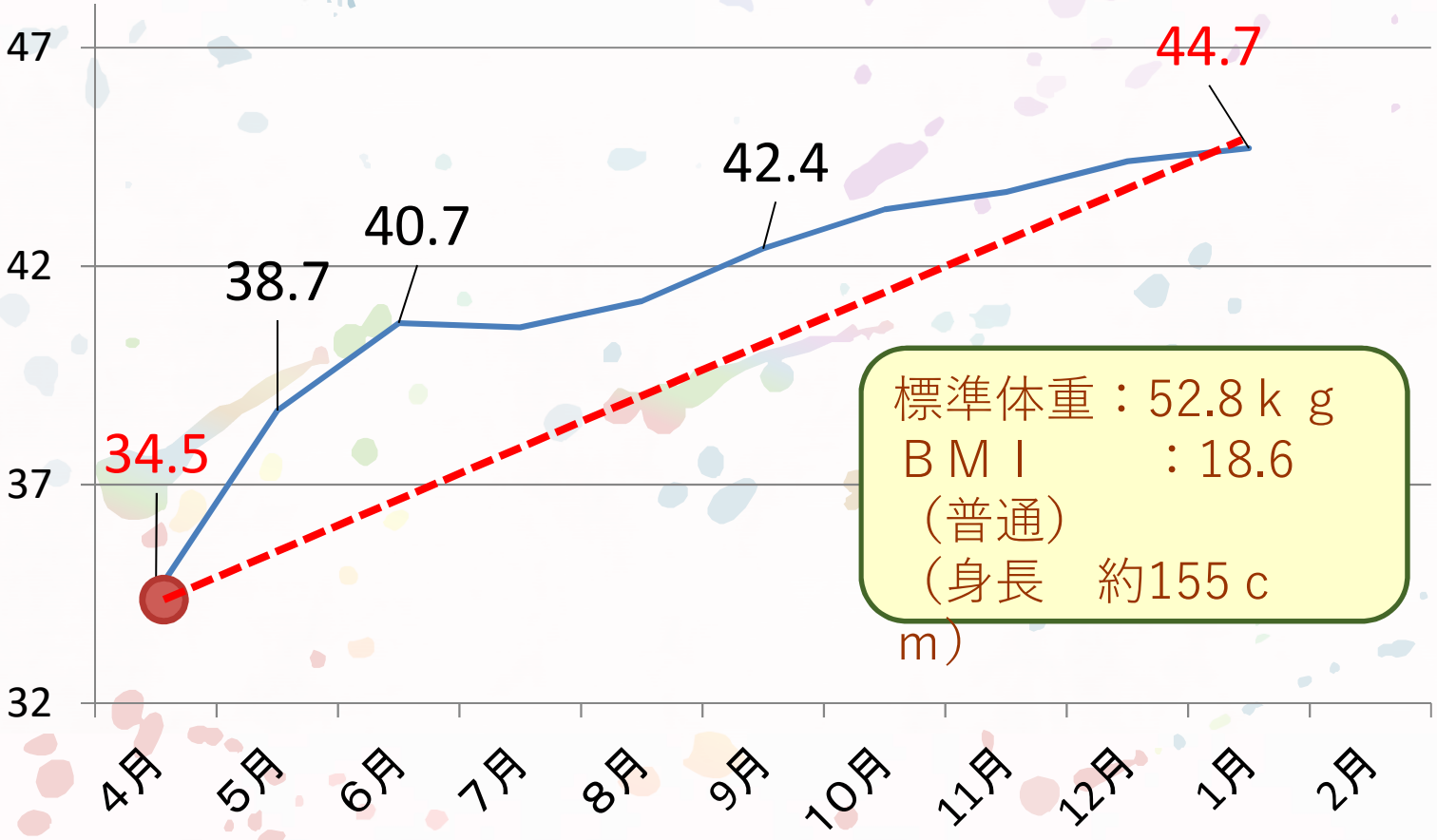
食事について（割合）


10
9
8
7
6
5
4
3
3月
4月
5月
6月
7月
ソフト食1/2
エンジョイゼリー
エンシュアH
常食半分量
常食10割
エンシュアH
中止
エンジョイゼリー中止
主食
副食
補食

水分摂取量（単位：CC）


1300
1100
900
700
500
300
100
3月1日
4月1日
5月1日
6月1日
547
735
911
1036
1142

体重の変化（単位：kg）


47
42
37
32
34.5
38.7
40.7
42.4
44.7
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
標準体重：52.8ｋｇ
ＢＭＩ　　：18.6
（普通）
（身長　約155ｃｍ）

排泄状況

・利用当初

尿路感染症・膿尿のため

3月29日　バルンカテーテル留置

4月26日　バルンカテーテル抜去

・現在

抜去後は、導尿を週５回。現在は週２回

日中はトイレにて排泄

夜間はパット交換

身体状況

・利用当初

褥瘡　右踵部　0.5×0.5cm

仙骨　1 × 1 cm

背骨　1×0.5cm

尖足傾向

ポジショニングの検討

ポ　　討

・車椅

・臥床　　真を撮
り、
　統一

◎　K様　体交　◎

↑枕の左側下にタオルを入れる。

↑臀部下から黒くまの間にタオルを入れる(隙間が空くため))

←膝下に黒くまと花柄クッションをいれ、隙間を埋める

←尖足あるため、足裏にクッションをあて、尖足の改善をはかる

コミュニケーション

・4月中旬、自ら起きようと足を下ろしたりされるようになる

・風船バレーや外出レクにも参加されるようになる

自宅に帰る

・短時間の帰宅

→週1回から週2回に

・6月から訪問リハビリ再開

→下肢筋力向上

介護方法の専門的アドバイス

自宅に帰ってみて

・家族が困ったこと

→トイレが狭く介助ができない

自宅のポータブルトイレで排泄できるように、えんで練習

・２週間で移乗動作が出来る様になる。

自宅に泊まろう！

・週２回の自宅への外出で、不安に感じたことを確認

・訪問リハビリＰＴ・レンタル業者と調整し、車椅子の変更・ベッドを準備

・自宅のポータブルトイレの高さが、
　低いため、ご主人がＤＩＹで高さを調整

自宅で家族と

・お正月に３泊４日、ご家族と過ごす

ま　と　め

・本人・家族の思いから、何を実行していくのかを１つ１つ明確にしていくこと

・その方の人となりを大切にすること

・多職種連携

・ケア内容のこまめな変更

ご静聴ありがとうございました